

様式1 いう酸化物総量規制に係るばい煙発生施設の使用計画

事業所名	大手前産業	指定地域	A-1
所在地	大阪市住之江区南港北1-14-16		

a= 2.000

施設番号	令列表第1項番号	施設の種類	施設の設置年月日	施設の規模	原料の処理能力及び燃料の燃焼能力 (kJ/h) (10 <sup>3</sup> Nm <sup>3</sup> /h) (t/h)	使用する原料及び燃料					脱硫効率 (%)	燃料からのSOx排出量 (Nm <sup>3</sup> /h)		原料からのSOx排出量 (Nm <sup>3</sup> /h)	重油換算係数	原料及び燃料使用量の重油換算値 WSOx(kL/h)				使用状況			通常の使用計画			備考  (交互使用の場合は、対象となる施設の組み合わせを明記すること)			
						種類	湿焼割合 (%)	硫黄分 (%)	比重 (液体燃料)	総発熱量 kJ/kg kJ/Nm <sup>3</sup>		処理前	処理後			処理前	処理後	W		Wi		予備	交互	休止	実燃料使用量 (kL/日) (10 <sup>3</sup> Nm <sup>3</sup> /日) (t/日)		重油換算燃料使用量 (t/日)	燃料からのSOx実排出量 (Nm <sup>3</sup> /日)	
																		Wf	Wm	Wif	Wim								
																													⑭
UB-1	1	ボイラー	S45.1.6	伝熱面積 12m <sup>2</sup>	3.25	C重油	100	2.5	0.93	44,000 kJ/kg	80	52.894	10.579		1	3.250					○			0	0	0	UB=2, UB-3の予備		
UB-2	1	ボイラー	H17.5.5	伝熱面積 9.98m <sup>2</sup>	1.42	都市ガス	100	0		45,000 kJ/Nm <sup>3</sup>	0	0	0		1.14		1.619				◎			22.72	25.901	0	UB-2とUB-3で交互		
UB-3	1	ボイラー	H17.5.5	伝熱面積 9.98m <sup>2</sup>	1.42	都市ガス	100	0		45,000 kJ/Nm <sup>3</sup>	0	0	0		1.14		1.619			○							UB-2とUB-3で交互		
FA-1	6	金属加熱炉	H10.3.3	定格容量 200kVA	0.12	A重油	100	0.06	0.86	44,000 kJ/kg	0	0.044	0.044		1	0.120								2.88	2.88	1.041	S&BによりWとして認定		
FA-2	7	金属加熱炉	H10.3.4	定格能力 360kVA	0.25	都市ガス	100	0		45,000 kJ/Nm <sup>3</sup>	0	0	0		1.14	0.285					○			0	0	0	S&BによりWとして認定		
常用1	29	ガスタービン	S63.1.30	燃料燃焼能力 10001/h	0.85	軽油	100	0	0.8	30,400 kJ/kg	0	0	0		0.95	0.808								0	0	0			
常用2	30	ディーゼル	S63.1.31	伝熱面積 2001/h	0.5	軽油	100	0	0.8	30,400 kJ/kg	0	0	0		0.95		0.475							0	0	0			
AT-1	1	ボイラー	S60.9.10	伝熱面積 9.98m <sup>2</sup>	0.12	A重油	100	0.06	0.8	44,000 kJ/kg	0	0.041	0.041		1		0.120				○						AT-1～AT-5の5台中3台で稼働		
AT-2	1	ボイラー	S60.9.10	伝熱面積 9.98m <sup>2</sup>	0.12	A重油	100	0.06	0.8	44,000 kJ/kg	0	0.041	0.041		1		0.120				◎			0.96	0.96	0.323	AT-1～AT-5の5台中3台で稼働		
AT-3	1	ボイラー	S60.9.10	伝熱面積 9.98m <sup>2</sup>	0.12	A重油	100	0.06	0.8	44,000 kJ/kg	0	0.041	0.041		1		0.120				◎			0.96	0.96	0.323	AT-1～AT-5の5台中3台で稼働		
AT-4	1	ボイラー	S60.9.10	伝熱面積 9.98m <sup>2</sup>	0.12	A重油	100	0.06	0.8	44,000 kJ/kg	0	0.041	0.041		1		0.120				◎			0.96	0.96	0.323	AT-1～AT-5の5台中3台で稼働		
AT-5	1	ボイラー	S60.9.10	伝熱面積 9.98m <sup>2</sup>	0.12	A重油	100	0.06	0.8	44,000 kJ/kg	0	0.041	0.041		1		0.120				○						AT-1～AT-5の5台中3台で稼働		
<参考>非常用ガスタービン、ディーゼル機関、ガス機関、ガソリン機関											①	②	④Wf	⑤Wm	⑥Wif	⑦Wim				⑭	⑮								
											0.167	0.000	0.928		2.454					31.661	2.01								
											③=①+② SOx排出量(Nm <sup>3</sup> /h)		⑧=④+⑤ 0.928		⑨=⑥+⑦ 2.454		⑩=⑧+⑨ W <sub>SOx</sub> (kL/h)=W+Wi		⑪ SOx許容排出量 (Nm <sup>3</sup> /h)		※燃料S分管理指標			⑫=⑪-② 燃料に係るSOx許容排出量		⑬=⑫/[7×(④+⑥)×0.9] 燃料中許容S分(%)		⑯=⑮/(7×⑭) 使用燃料S分_日平均(%)	
											0.167		3.382		3.004					3.004		0.14		0.009					

備考 1 合計には、交互使用の施設のうちWSOxの小さいもの並びに予備、休止及び廃止の施設は含めないこと。  
2 「燃料使用量の重油重量換算値 (t/h)」の算定にあたっては、比重は原則として0.9とすること。

総量規制基準適否 →

適